

教科名	国語科	校 種	高等学校
-----	-----	-----	------

科 目 の 配 当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1 年	現代の国語	必	2	イングリッシュ/アカデミック コース
			3	スーパーリアコース
	言語文化	必	2	イングリッシュ/アカデミック コース
			3	スーパーリアコース
2 年	総合現代文	必	2	イングリッシュ/アカデミック/ サイエンス コース
			3	スーパーリアコース
	古典探究	必	3	イングリッシュ/アカデミック/ サイエンス コース
			3	スーパーリアコース
3 年	総合国語	必	5	イングリッシュ/アカデミック コース
			4	サイエンス コース
	総合現代文	必	4	スーパーリアコース
		必	1	スーパーリアコース 文系
	古典探究	必	2	スーパーリアコース
		必	1	スーパーリアコース 文系
	漢文演習	選	(2)	イングリッシュ/アカデミック コース

科目名（教科名）		イングリッシュ・アカデミックコース 現代の国語（国語）			
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	小説		・登場人物の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、自分の意見や考えを論述する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方を工夫する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握する。
	評論		
2 学期	小説		・自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方を工夫する。 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた展開について理解する。 ・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。
	評論		
3 学期	小説		・作中に示された主題について考えを深め、自分の意見や考えを論述する。 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。
	評論		
通 年	文学史		・近代文学史の展開を学ぶ。 ・小テストを実施する。 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。 ・問題集に取り組み、様々な文章に触れる機会を増やす。
	漢字・語彙 表現 演習		
評 価 の 観 点	【知識・技能】（40%）	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	・定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・感想文、作文
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「高等学校 現代の国語」（数研出版） ● 副教材：「高等学校 現代の国語 準拠ワーク」（数研出版） 「一問一答 日本文学史ノート」（桐原書店） 「漢検 10日のできる練習問題集 3級」（日本漢字能力協会） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）	スーペリアコース 現代の国語（国語）				
学年	1	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	小説 評論		・登場人物の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、自分の意見や考えを論述する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方を工夫する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握する。
2 学期	小説 評論		・自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方を工夫する。 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた展開について理解する。 ・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。
3 学期	小説 評論		・作中に示された主題について考えを深め、自分の意見や考えを論述する。 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。
通 年	文学史 漢字・語彙 表現 演習		・近代文学史の展開を学ぶ。 ・小テストを実施する。 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。 ・問題集に取り組み、様々な文章に触れる機会を増やす。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている	・定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・感想文、作文
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「現代の国語」（数研出版） ● 副教材：「一問一答 日本文学史ノート」（桐原書店） 「漢検 10日のできる練習問題集 3級」（日本漢字能力協会） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）	イングリッシュコース・アカデミックコース 言語文化（国語）				
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学 期	文法		・歴史的仮名遣いを正しく理解し、古文の特徴をつかむ。
	説話・随筆		・用言の活用、助動詞の意味と用法について正確に理解する。
	格言と故事		・古人の生き方に触れ、古文を読む楽しさを知る。 ・中世のものの考え方や見方、感じ方を理解する。 ・音読を通して漢文の表現に慣れる。 ・故事を通し、古代中国の人々の知恵を知る。 ・再読文字・置き字の用法を理解する。
2 学 期	物語		・文学史的意義について理解する。 ・平安時代の人々のものの見方、感じ方を味わう。 ・登場人物の心情と行動を読み取る。 ・助詞の働きを理解する。
	日記		・日記文学の文学史的意義について理解する。 ・当時の旅の苦労や筆者の心情を読み取る。
	史伝		・漢文の文章を訓点に従って正確に読み、その内容を理解する。
3 学 期	物語		・当時の武士の考え方や生き方について理解を深める。 ・軍記に固有の韻律や表現を読み味わう。
	古典と近現代の詩歌		・和歌や近現代の韻文の韻律や表現の特色を学び、世界に親しむ。 ・和歌や近現代の韻文に描き出された情景や歌人の心情を読み取る。
	漢詩		・漢詩の種類と形式を学ぶ。 ・漢詩文を通し、唐時代の人々のものの見方、感じ方を味わう。
準	文学史		・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ。
	古文単語		・古文単語の語彙力を高める。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている。	・定期試験の知識問題 （例）穴埋め、正誤判断
	【思考・判断力・表現】（30%）	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・レポート
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験の点数に、平常点（提出物・小テスト・授業態度等）を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「標準言語文化」（第一学習社） ● 副教材：「標準言語文化 学習課題集」（第一学習社） 「一問一答 日本文学史ノート」（桐原書店） 「基礎からのジャンプアップノート 古典文法 演習ドリル」（旺文社） 「古文単語330」（いっずな書店） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）	スーペリアコース 言語文化（国語）				
学年	1	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学 期	文法 説話・随筆 格言と故事		・歴史的仮名遣いを正しく理解し、古文の特徴をつかむ。 ・用言の活用、助動詞の意味と用法について正確に理解する。 ・古人の生き方に触れ、古文を読む楽しさを知る。 ・中世のものの考え方や見方、感じ方を理解する。 ・音読を通して漢文の表現に慣れる。 ・故事を通し、古代中国の人々の知恵を知る。 ・再読文字・置き字の用法を理解する。
2 学 期	物語 日記 史伝		・文学史的意義について理解する。 ・平安時代の人々のものの見方、感じ方を味わう。 ・登場人物の心情と行動を読み取る。 ・助詞の働きを理解する。 ・日記文学の文学史的意義について理解する。 ・当時の旅の苦労や筆者の心情を読み取る。 ・漢文の文章を訓点に従って正確に読み、その内容を理解する。
3 学 期	物語 古典と近現代の詩歌 漢詩		・当時の武士の考え方や生き方について理解を深める。 ・軍記に固有の韻律や表現を読み味わう。 ・和歌や近現代の韻文の韻律や表現の特色を学び、世界に親しむ。 ・和歌や近現代の韻文に描き出された情景や歌人の心情を読み取る。 ・漢詩の種類と形式を学ぶ。 ・漢詩文を通し、唐時代の人々のものの見方、感じ方を味わう。
通 年	文学史 古文単語 漢文		・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ。 ・古文単語の語彙力を高める。 ・漢文の句形に関する知識を身につける。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている。	・定期試験の知識問題（例）穴埋め、正誤判断
	【思考・判断力・表現】（30%）	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・レポート
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験の点数に、平常点（提出物・小テスト・授業態度等）を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「標準言語文化」（第一学習社） ● 副教材：「一問一答 日本文学史ノート」（桐原書店） 「基礎からのジャンプアップノート 古典文法 演習ドリル」（旺文社） 「古文単語330」（いっずな書店） 「入試必須の基礎知識 漢文ポイントマスター」（河合出版） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）		イングリッシュコース・アカデミック・サイエンスコース 総合現代文（国語）			
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深める。
2. 論理的・批判的に考える力および共感したり想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。
3. 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目	内 容
1 学期	評論 小説	・ 論理的な文章から、論理の働きによって自らの概念の成り立ちを分析する。 ・ 論理的な文章を通して、現代社会や時代のありようを読み解き、社会についての自分の考えを発展させる。 ・ 文学的な文章にあらわれた、人物の喜びや悲しみなどの心情をリアルにとらえ、優れた描写を味わう。
2 学期	評論 小説	・ 論理的な文章をその論理の展開を把握するだけでなく、そこに込められた筆者の物の見方・考え方を学ぶ。 ・ 優れた小説を通して、人間や社会について考えるとともに、読書に親しむ態度を養う。
3 学期	評論 実用的文章の表現	・ これまで培ってきた総合的な国語の力を応用し、作品の読みから深い知恵を導き出す方法を学ぶ。 ・ 本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶ。 ・ 資料を基に客観的に意見を伝える方法を身につけ、伝え合う力や態度を養う。
通 年	文学史 漢字・語彙 演習	・ 近代文学史の展開を学ぶ。 ・ 小テストを実施する。 ・ 演習問題を解き、読解力を養う。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。 ・ 定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・ 定期試験の思考判断を問う記述問題 ・ 話し合い・発表・感想文・作文
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 ・ 振り返り ・ 小テスト・ノート作り ・ 授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %	
教科書・ 副教材等	● 教科書：「精選論理国語」「文学国語」（東京書籍） ● 副教材：「精選論理国語学習課題ノート」「文学国語学習課題ノート」（東京書籍） 「大学入試 銀の漢字 必修編」（水王舎）「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「最新国語便覧」（浜島書店）	

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）		スーペリアコース 総合現代文（国語）			
学年	2	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深める。
2. 論理的・批判的に考える力および共感したり想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。
3. 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
4. 入試に対応できる国語の力を計画的に育成する。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	評論		・ 論理的な文章から、論理の働きによって自らの概念の成り立ちを分析する。 ・ 論理的な文章を通して、現代社会や時代のありようを読み解き、社会についての自分の考えを発展させる。 ・ 文学的な文章にあらわれた、人物の喜びや悲しみなどの心情をリアルにとらえ、優れた描写を味わう。
	小説		
2 学期	評論		・ 論理的な文章をその論理の展開を把握するだけでなく、そこに込められた筆者の物の見方・考え方を学ぶ。 ・ 優れた小説を通して、人間や社会について考えるとともに、読書に親しむ態度を養う。
	小説		
3 学期	評論		・ これまで培ってきた総合的な国語の力を応用し、作品の読みから深い知恵を導き出す方法を学ぶ。 ・ 本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶ。
	小説		
通 年	文学史 漢字・語彙 演習		・ 近代文学史の展開を学ぶ。 ・ 小テストを実施する。 ・ 演習問題を解き、読解力を養う。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	・ 定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ 定期試験の思考判断を問う記述問題
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・ 振り返り ・ 小テスト・ノート作り ・ 授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「精選論理国語」「文学国語」（東京書籍） ● 副教材：「大学入試 銀の漢字 必修編」（水王舎）「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）		イングリッシュ・アカデミック・サイエンスコース 古典探究（国語）			
学年	2	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
2. 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする。
3. 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しみながら、日本文化の特質を理解する。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	説話・随筆 随筆・漢詩		・歴史的・文化的背景の違いをふまえ、当時の人々のものの見方や感じ方、考え方を味わう。 ・基本的な知識を確認しながら、漢詩の法則やその歴史について学び、自然・社会・人生・愛情などの詩的情趣を感じ取る。
2 学期	漢文 説話		・格調高い文章の良さを味わい、中国の歴史上の物語を読み解くことで、人間の心理を理解する。 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・中世の説話を読み解き、人のどのような行為を戒めようとしたかを理解する。
3 学期	物語		・作品の内容、解釈をふまえ、自分のものの見方や感じ方、考え方を深める。
通 年	文学史 古文単語		・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ。 ・古文単語の語彙力を高める。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	・定期試験の知識問題（例）穴埋め、正誤判断
	【思考・判断力・表現】（30%）	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・レポート
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験の点数に、平常点（提出物・小テスト・授業態度等）を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「標準古典探究」（第一学習社） ● 副教材：「標準古典探究 学習課題集」（第一学習社） 「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「基礎からのジャンプアップノート 古典文法 演習ドリル」（旺文社） 「古文単語330」（いっぴな書店） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）	スーペリアコース 古典探究（国語）				
学年	2	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
2. 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする。
3. 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しみながら、日本文化の特質を理解する。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	説話・物語 漢詩		・歴史的・文化的背景の違いをふまえ、当時の人々のものの見方や感じ方、考え方を味わう。 ・基本的な知識を確認しながら、漢詩の法則やその歴史について学び、自然・社会・人生・愛情などの詩的情趣を感じ取る。
2 学期	日記 和歌と歌謡 漢文		・仮名散文の表現性とともに、みずからの心を自由に表現した日記文学を読み味わう。 ・古典文学の最も伝統的な形態である和歌を通じ、歌風の特徴や変遷を理解し、作者の心情を読み取る。 ・中国の歴史上の物語を読み解くことで、格調高い文章の良さを味わい、人間の心理を理解する。
3 学期	随筆		・作品の内容、解釈をふまえ、自分のものの見方や感じ方、考え方を深める。
通 年	文学史 古文単語 漢文 演習		・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ。 ・古文単語の語彙力を高める。 ・漢文の句形に関する知識を身につける。 ・演習問題を解き、読解力を養う。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている	・定期試験の知識問題（例）穴埋め、正誤判断
	【思考・判断力・表現】（30%）	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・レポート
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験の点数に、平常点（提出物・小テスト・授業態度等）を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「標準古典探究」（第一学習社） ● 副教材：「よむナビ古典2 必修編」（いっずな書店） 「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「古文単語330」（いっずな書店） 「入試必須の基礎知識 漢文ポイントマスター」（河合出版） 「基礎からのジャンプアップノート 古典文法・演習ドリル新装改訂版」（旺文社） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）	イングリッシュ・アカデミックコース/サイエンスコース 総合国語（国語）				
学年	3	単位数	5/4	必修・選択・展開	必修

■ 授 業 の 目 的

1. 近代以降の様々な文章を読解する能力を高め、物の見方、感じ方、考え方を深め人生を豊かにする態度を育てる。
2. 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする。
3. 言語感覚を磨き、大学入試にも対応できる語彙力・表現力を身につける。また、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

■ 授 業 計 画

学 期	授 業 の 項 目		主 な 内 容
1 学期	評論 小説 説話・物語 表現活動		・構成・展開・要旨などを文章に即して読み取る。 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、意味について考える。当時の人々のものの見方や感じ方、考え方を味わう。 ・様々な文章（志望理由書・自己推薦書）の書き方を練習する。
2 学期	評論 小説 日記 和歌と歌謡 漢文 古典芸能鑑賞		・他者や異文化世界の評論を読み、様々な見方があることを知る。 ・構成や時代背景に注意しながら主人公の選択について考える。 ・仮名散文の表現性、心を自由に表現した日記文学を読み味わう。 ・古典文学の最も伝統的な形態である和歌を通じ、歌風の特徴や変遷を理解し、作者の心情を読み取る。 ・中国の歴史上の物語を読み解くことで、人間の心理を理解する。 ・古典の基本的知識を学び、古典芸能のすばらしさを体感する。
通 年	文学史 漢字・語彙・語句 演習		・古代から近世、近代文学史の展開を学ぶ。 ・小テストを実施する。 ・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	国語の知識や技能や、伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの知識を身に付けている。	・定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や想像する力を伸ばし、古典を読み思考や感情などを考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題 ・話し合い・発表・表現物
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深め、読書や古典に親しむことで自己を向上させようとしている。	・小テスト・ノート作り ・小テスト等の直し ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「精選論理国語」「文学国語」（東京書籍）「標準古典探究」（第一学習社） ● 副教材：「精選論理国語学習課題ノート」「文学国語学習課題ノート」（東京書籍） 「標準古典探究 学習課題集」（第一学習社） 「大学入試 銀の漢字 必修編」（水王舎）「古典文法・演習ドリル」（旺文社） 「古文単語330」（いっぴな書店）「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）		スーペリアコース/スーペリアコース（文系） 総合現代文（国語）			
学年	3	単位数	4/5	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 近代以降の様々な文章を読解する能力を高め、物の見方、感じ方、考え方を深め人生を豊かにする態度を育てる。
2. 言語感覚を磨き、大学入試にも対応できる語彙力・表現力を身につける。
3. 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しみながら、日本文化の特質を理解する。
4. 大学受験を見据えた実践的な読解力と記述力を向上させる。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	評論		・ 評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文章に即して的確に読み取る。
	小説		・ 登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、象徴的な意味について考える。
2 学期	評論		・ 他者や異文化世界についての評論を読み、さまざまな見方があることを知る。
	小説		・ 構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。
通 年	文学史 漢字・語彙・語句 演習		・ 近代文学史の展開を学ぶ。 ・ 小テストを実施。 ・ 入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	実社会に必要な国語の知識や技能などの理解を深め、知識を身に付けている。	・ 定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の考えを深め、発展させている。	・ 定期試験の思考判断を問う記述問題
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・ 振り返り ・ 小テスト・ノート作り ・ 授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「精選論理国語」「文学国語」（東京書籍） ● 副教材：「現代文 解法のテクニック 速読×多読3」（啓隆社） 「大学入試 銀の漢字 必修編」（水王舎） 「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）	スーペリアコース/スーペリアコース（文系） 古典探究（国語）				
学年	3	単位数	2/3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 大学入試に対応できる古語・文法の知識や漢文の訓読法や知識を身につける。
2. 古文・漢文特有の文体に慣れ、大学入試に対応できる「読解力」を養う。
3. 古典に親しむことによって人生を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

■ 授業計画

学 期	授 業 の 項 目		内 容
1 学期	説話・物語		・歴史的・文化的背景の違いをふまえ、当時の人々のものの見方や感じ方、考え方を味わう。
2 学期	日記 和歌と歌謡 漢文		・仮名散文の表現性ととともに、みずからの心を自由に表現した日記文学を読み味わう。 ・古典文学の最も伝統的な形態である和歌を通じ、歌風の特徴や変遷を理解し、作者の心情を読み取る。 ・格調高い文章の良さを味わい、中国の歴史上の物語を読み解くことで、人間の心理を理解する。
通 年	文学史 語彙 演習		・古代から近世文学史の展開を学ぶ。 ・古文単語の語彙力を高める。 ・漢文の句形に関する知識を身につける。 ・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける。
評価の 観点	【知識・技能】（40%）	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	・定期試験の知識問題
	【思考・判断力・表現】（30%）	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	・定期試験の思考判断を問う記述問題
	【主体的に学習に取り組む態度】（30%）	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出
評価の方法 と割合	● 評価方法：定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合：定期試験 70 % 平常点 30 %		
教科書・ 副教材等	● 教科書：「標準古典探究」（第一学習社） ● 副教材：「よむナビ古典3 演習編」（いっぴな書店） 「大学入試 国語頻出問題1200」（いっぴな書店） 「完成日本文学史ノート」（啓隆社） 「古文単語330」（いっぴな書店） 「基礎からのジャンプアップノート 古典文法・演習ドリル改訂版」（旺文社） 「漢文ポイントマスター」（河合出版） 「最新国語便覧」（浜島書店）		

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。

科目名（教科名）		イングリッシュコース・アカデミックコース 漢文演習（国語）			
学年	3	単位数	2	必修・選択・展開	選 択

■ 授 業 の 目 的

1. 原文に返り点・振り仮名・送り仮名等を施して漢文訓読文を作成することや書き下し文の作成ができるようにする。
2. 漢文訓読法により中国古典文学を理解する力を養う。

■ 授 業 計 画

学 期	授 業 の 項 目	内 容
1 学期	漢文訓読の基礎、応用	漢文訓読の基礎、応用の練習問題・入試問題
2 学期	中国古典文学の読解	中国古典文学の練習問題・入試問題
教科書・ 副教材等	適宜プリントや問題を提示する。	

※生徒の実態に応じて、内容や進度等が変更されることがある。